

令和2年度 構造設計1級建築士 構造設計 対策講座【日曜コース】日程表(1月開講)

●早期受講

・先行講座(本講座の基礎となる「構造力学」(3時間)を令和元年7月上旬より先行受講可能(通学映像&e講義)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	令和元年 7月上旬~	1時間	構造力学	トラス、振動・剛性マトリックス、座屈	代表的な構造力学の問題解法を確認する
2		1時間		たわみ、降伏と終局	
3		1時間		曲げによる降伏と終局、水平力の分担	

・構造設計1級建築士 必修項目習得講座(12.5時間)(通学映像&e講義)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	令和元年 10月下旬~	1.5時間	構造力学	静定構造物、断面の性質と応力度、部材の変形、不静定構造物1	建築構造の基本事項を確認する
2		2.0時間		不静定構造物2、座屈、振動、骨組の塑性解析	
3		2.0時間	各種構造・材料	構造設計の基礎、構造計画等	
4		1.75時間		鉄骨造	
5		1.75時間		鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造	
6		1.75時間		基礎構造	
7		1.75時間		木造、その他の構造等、建築材料	

早期学習期間
(本講座前の基礎を固める)

●構造設計1級建築士 構造設計 対策講座(令和2年)

回数	日程		時間	科目	内容	学習目標等
	1月開講					
1	1/19(日)	9:00~14:30	5.5時間	構造設計1	ガイダンス 構造力学 構造計画・構造設計	<ul style="list-style-type: none"> 各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める 計算問題について手計算での手順をマスターする 講義の流れ → 当週完結確認テスト ポイント集と黄色本を活用した講義&例題演習 → 演習テスト → 演習テスト解説 → フォローアップ学習 演習確認問題 復習テスト
2	2/2(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計2	構造設計者の倫理 災害 荷重 構造計算等	
3	2/16(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計3	建築材料 木造	
4	3/1(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計4	鉄骨造 鉄筋コンクリート造	
5	3/15(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計5	鉄筋コンクリート造 免震構造 制振構造 振動の計算・剛性マトリクス 基礎構造 耐震診断・耐震補強	
6	3/29(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計6	構造設計での黄色本活用・まとめ実践演習	
7	5/24(日)	14:00~18:00	4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了考査(1)	令和2年度模擬修了考査(1)(構造設計)演習・解説	・本考査の予想問題での実戦形式演習と添削で、中間期での到達度確認と学習対策を行う 添削あり 考査模査了擬
8	6/7(日)	9:00~13:30	4.5時間(演習3h+解説1.5h)	構造設計7	平成28年度修了考査(構造設計)演習・解説	・本番形式でのアウトプットトレーニングを過去修了考査問題を利用して行い、実戦力を高める ・添削を受け、到達度確認と記述答案、計算手順の修正を図る 講義の流れ 修了考査演習 → 解説 → フォローアップ学習 添削あり
9	6/21(日)	9:00~13:30	4.5時間(演習3h+解説1.5h)	構造設計8	平成29年度修了考査(構造設計)演習・解説	
10	7/5(日)	9:00~13:30	4.5時間(演習3h+解説1.5h)	構造設計9	平成30年度修了考査(構造設計)演習・解説	
11	7/19(日)	9:00~13:30	4.5時間(演習3h+解説1.5h)	構造設計10	令和元年度修了考査(構造設計)演習・解説	
12	9/27(日)	14:00~18:00	4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了考査(2)	令和2年度模擬修了考査(2)(構造設計)演習・解説	・本考査の予想問題での実戦形式演習と添削で、到達度確認と最終修正を図る 添削あり 考査模査了擬

前半期間(インプット)

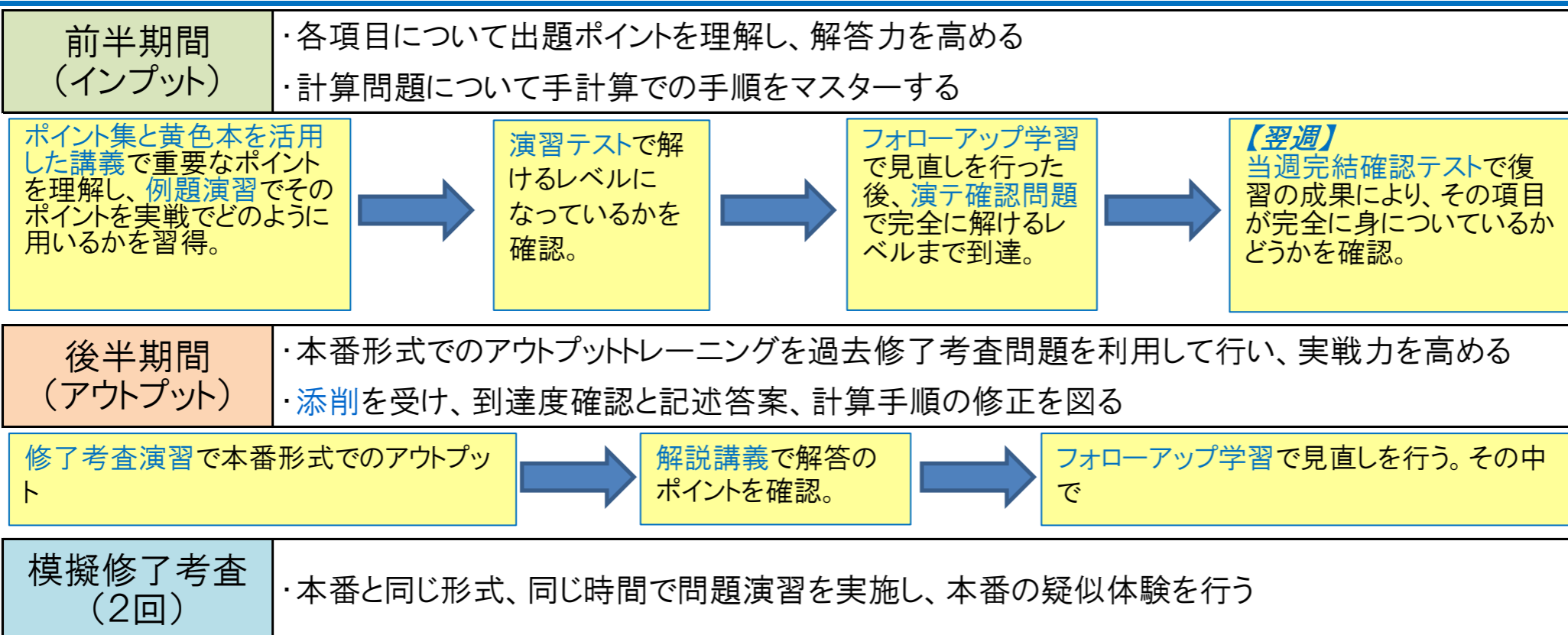
後半期間(アウトプット)

添削指導

※講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

9月上旬~下旬(公財)建築技術教育普及センター講習受講(2日間)
10月中旬~下旬 構造設計1級建築士講習 修了考査

総合資格学院



結果に対する細かい添削や計算手順など、対する。

※講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

■ご注意

構造設計1級建築士講習テキスト(通称:青本)は、本講座の教材に含まれません。なお、本講座の教材である「ポイント集」「修了考査問題集」に掲載している青本での該当するページ番号は、前年度の青本をお持ちの方向けの参考情報です。お持ちでない方は、本講座の受講には支障ありませんが、当年度版配付後にご活用下さい。

令和2年度 構造設計1級建築士 構造設計 対策講座【水曜コース】日程表(1月開講)

●早期受講

・先行講座(本講座の基礎となる「構造力学」(3時間))を令和元年7月上旬より先行受講可能(通学映像&e講義)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	令和元年 7月上旬~	1時間	構造力学	トラス、振動・剛性マトリックス、座屈	代表的な構造力学の問題解法を確認する
2		1時間		たわみ、降伏と終局	
3		1時間		曲げによる降伏と終局、水平力の分担	

・構造設計1級建築士 必修項目習得講座(12.5時間)(通学映像&e講義)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	令和元年 10月下旬~	1.5時間	構造力学	静定構造物、断面の性質と応力度、部材の変形、不静定構造物1	建築構造の基本事項を確認する
2		2.0時間		不静定構造物2、座屈、振動、骨組の塑性解析	
3		2.0時間	各種構造・材料	構造設計の基礎、構造計画等	
4		1.75時間		鉄骨造	
5		1.75時間		鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造	
6		1.75時間		基礎構造	
7		1.75時間		木造、その他の構造等、建築材料	

早期学習期間
(本講座前の基礎を固める)

●構造設計1級建築士 構造設計 対策講座(令和2年)

回数	日程		時間	科目	内容	学習目標等
	1月開講					
1	1/22(水)	9:00~14:30	5.5時間	構造設計1	ガイダンス 構造力学 構造計画・構造設計	<ul style="list-style-type: none"> 各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める 計算問題について手計算での手順をマスターする 講義の流れ → 当週完結確認テスト ポイント集と黄色本を活用した講義&例題演習 → 演習テスト → 演習テスト解説 → フォローアップ学習 演習確認問題 復習テスト
2	2/5(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計2	構造設計者の倫理 災害 荷重 構造計算等	
3	2/19(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計3	建築材料 木造	
4	3/4(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計4	鉄骨造 鉄筋コンクリート造	
5	3/18(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計5	鉄筋コンクリート造 免震構造 制振構造 振動の計算・剛性マトリクス 基礎構造 耐震診断・耐震補強	
6	4/1(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計6	構造設計での黄色本活用・まとめ実践演習	
7	5/27(水)	14:00~18:00	4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了考査(1)	令和2年度模擬修了考査(1)(構造設計)演習・解説	・本考査の予想問題での実戦形式演習と添削で、中間期での到達度確認と学習対策を行う 添削あり 考査模査了擬
8	6/10(水)	9:00~13:30	4.5時間(演習3h+解説1.5h)	構造設計7	平成28年度修了考査(構造設計)演習・解説	・本番形式でのアウトプットトレーニングを過去修了考査問題を利用して行い、実戦力を高める ・添削を受け、到達度確認と記述答案、計算手順の修正を図る 講義の流れ 修了考査演習 → 解説 → フォローアップ学習 添削あり
9	6/24(水)	9:00~13:30	4.5時間(演習3h+解説1.5h)	構造設計8	平成29年度修了考査(構造設計)演習・解説	
10	7/8(水)	9:00~13:30	4.5時間(演習3h+解説1.5h)	構造設計9	平成30年度修了考査(構造設計)演習・解説	
11	7/22(水)	9:00~13:30	4.5時間(演習3h+解説1.5h)	構造設計10	令和元年度修了考査(構造設計)演習・解説	
12	9/30(水)	14:00~18:00	4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了考査(2)	令和2年度模擬修了考査(2)(構造設計)演習・解説	・本考査の予想問題での実戦形式演習と添削で、到達度確認と最終修正を図る 添削あり 考査模査了擬

前半期間(インプット)

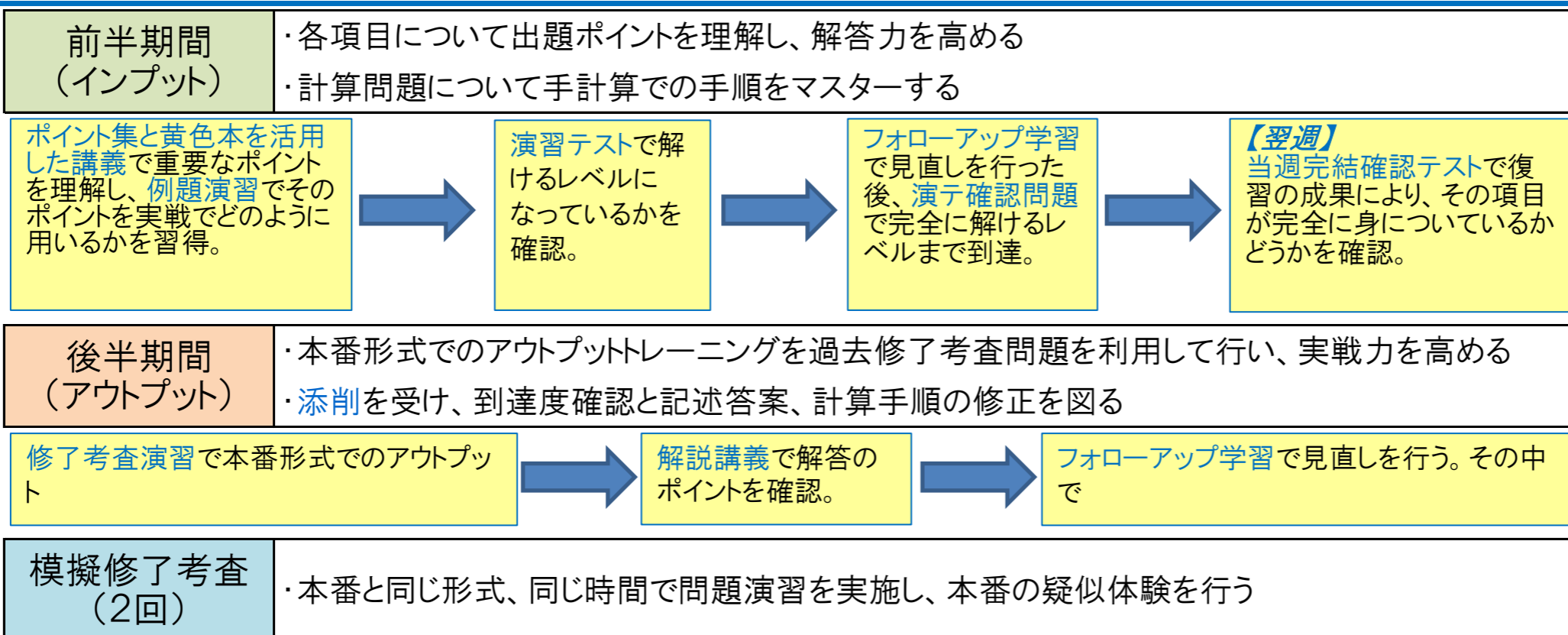
後半期間(アウトプット)

添削指導

※講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

9月上旬~下旬(公財)建築技術教育普及センター講習受講(2日間)
10月中旬~下旬 構造設計1級建築士講習 修了考査

総合資格学院



結果に対する細かい添削や計算手順など、対する。

※講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

■ご注意

構造設計1級建築士講習テキスト(通称:青本)は、本講座の教材に含まれません。なお、本講座の教材である「ポイント集」「修了考査問題集」に掲載している青本での該当するページ番号は、前年度の青本をお持ちの方向けの参考情報です。お持ちでない方は、本講座の受講には支障ありませんが、当年度版配付後にご活用下さい。